

## 京都府教育振興プラン 教育の基本理念

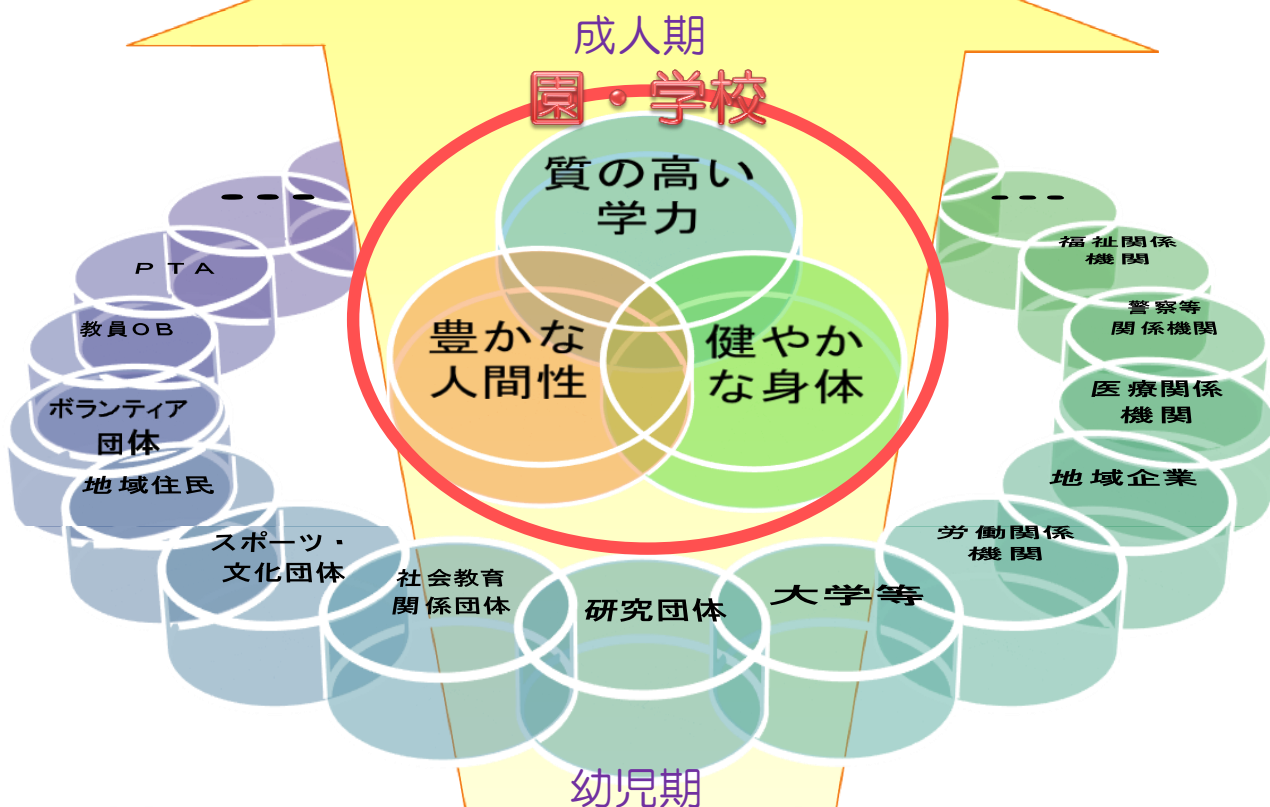


## 京都府中丹教育局 中期目標

共生社会の一員としての自覚を持ち、予測困難な未来を「ともに幸せに生きる力（資質・能力）」を身に付けた子どもの育成と、人権尊重を基盤に据えた共生社会の実現を目指す。

# 共生社会の実現を目指して

## 幼児期から成人期を見通した 資質・能力の育成



# 社会に開かれた教育課程の実現

## 取組の重点

質の高い学力の育成

豊かな人間性の育成

健やかな身体の育成

学校・地域協働推進

これまで子どもの貧困対策のプラットフォームとして位置付けられた学校において、児童生徒の社会的・職業的・経済的自立を目指し、地域や関係機関との連携、校種間接続の取組を進めて参りました。

新学習指導要領等においても、子どもたちが、生まれ育った環境や障害の有無に関わらず、様々な人と関わりながら学び、その学びを通じて、自分の存在が認められることや自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくしたりできることなどの実感をもつことが期待されています。

今後もこのような学びの中で、自己存在感や自己肯定感を感じ自己有用感を高めるとともに、他者の多様性を認めることが重要であり、これらが「共生社会の一員として自覚を持つ」ことにつながります。

「社会に開かれた教育課程の実現」を通して、予測困難な未来を「ともに幸せに生きる力（資質・能力）」を身に付けた子どもの育成を目指します。